

■ 市役所庁舎建替え状況に関する市民説明会（第2回）の結果概要

会場	春木市民センター	東岸和田市民センター	山直市民センター	八木市民センター	桜台市民センター	市立公民館・中央地区公民館
日時	平成31年2月2日（土） 19:00~20:10	平成31年2月3日（日） 10:00~11:00	平成31年2月5日（火） 19:00~19:50	平成31年2月6日（水） 19:00~20:30	平成31年2月7日（木） 19:00~20:15	平成31年2月8日（金） 19:00~20:20
参加者	16名	12名	21名	13名	18名	41名
事務局	公共施設マネジメント課長、課員（2名）					
説明内容	<p>岸和田市庁舎の建て替え検討について</p> <p>① 庁舎の建替え検討について ⇒ 現庁舎の状況と建替えの必要性、庁舎建替検討の経過、建設候補地、庁舎建設スケジュール案</p> <p>② 建設候補地の評価結果概要 ⇒ 建設候補地の「福祉総合センター敷地」、「現庁舎位置」について、防災性・利便性・まちづくり・環境への影響・経済性の視点で実施した評価の結果</p> <p>③ サウンディング調査結果 ⇒ 昨年6月に実施した新庁舎建設及び跡地利活用における民間活力の導入による事業手法・アイデアについて、民間事業者からの意見等をまとめた結果</p> <p>④ これまでの市民向け説明会での意見要望 ⇒ 昨年9月に実施した候補地周辺の地元町会や市全域を対象にした説明会の他、電話・直接・電子メール等でいただいた市民からのご意見等</p> <p>※上記の経過及び内容を踏まえて総合的に判断を行い、1月28日開催の庁舎建替特別委員会（市議会）で、永野市長より「現庁舎敷地」にて新庁舎を建設したい旨を報告した。</p> <p>今後は3月の定例市議会にて、現庁舎敷地での建替えに関する基本計画策定に係る予算について審議いただき、予算の承認をもって建設地について確定。</p>					

《庁舎建設地について》	
市民の意見	意見に対する説明
<p>① 防災性（安全性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現庁舎周辺で液状化の危険性があるなら、近隣で災害時に活用しようという余剰スペースと考えている場所も危険ではないのか。 ● 現庁舎位置は庁舎が津波で浸水しなくても付近は浸水する恐れがあり、そういう場所に庁舎があることは問題だし、災害時に危険な場所に向かうことも望ましくない。 ● 一番の懸念は津波であり、防災拠点となる庁舎が津波浸水想定区域の近くにあつて、災害発災時に災害対策本部になりうるのか。建物が浸水しなくても庁舎にアクセスできなくなる恐れが懸念されるので、建設時には対策を考慮してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最大クラスの地震発生時には、どちらの候補地も液状化の可能性はあり、現庁舎敷地の方が液状化の可能性は高い。敷地内での対策とともに避難計画、業務継続計画についても検討していく必要があると考える。 ● 現庁舎敷地は津波避難対象区域内に位置しているが、前面道路の堺阪南線とともに津波浸水想定区域外にあり、津波時にも一定の通行が確保できると考えられる。 ● 防災拠点として機能するための出来る限りの対策は行っていく。
<p>② 利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福祉総合センター敷地は交通の便が非常に良く、更地で四角いので自由に立てやすい。交通が弱いなら、裏の一方通行の道から自動車を進入させたらよい。 ● 利便性も踏まえ市民が利用しやすい場所を考慮すべきである。 ● 高齢者になると免許証を返納するなど車も使えなくなる。現市役所は遠く、ローズバスも地域を通っていないし便数も少なく不便。庁舎の位置はバス停や駅に近くあるべき。市民のことを考えるなら便利な場所に建てて欲しい。 ● 現庁舎位置だと建替中も市民に不便が生じるが、福祉総合センター敷地なら建替え中の不便さも無く、市民のことを先ず考えて庁舎建設をすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉センター敷地は公共交通機関に対する利便性は高く、設計の自由度は高いと認識しており、福祉総合センター敷地の長所であると認識している。一方通行道路は道幅が狭く、歩行者が多い為、自動車の交通量増加は危険性高く、また、地元の理解が得られていない。 ● 公共交通機関の利便性は福祉総合センター敷地が高いが、車両の出入り口に渋滞を起こす問題があると考えている。 ● ローズバスは路線バスを補う形で運用している。運行区間等も随時見直ししながら、市役所の利用しやすさとともに市民の利便性向上に今後も努めたい。 ● 工事の手順としては、分棟や仮設庁舎を建て、旧館新館の解体を行い、新庁舎を建設することを想定しているが、現庁舎が持つ機能を維持して市民のみなさんにご不便とならないように進める。

<p>③ まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 岸和田の顔が城と言うのは理解できる。歴史的な背景も重要である。 ● 福祉総合センター敷地の入口が一か所で不便と言うなら、跡地購入者がいるかも疑問であり、売れるかどうかわからないなら、市民の利便性を考えて福祉総合センターにすべき。 ● 跡地としての利活用可能性は、現状より将来のわからないことを優先しており、福祉総合センター敷地の跡地活用も具体的にあるわけではなく、不透明な状況で、現庁舎位置にする判断ができるのか。 ● 跡地の利活用案は無いのか。跡地利用のメリット・デメリットを先に考えて建設地を決めるものだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● このエリアの特徴や市政施行以来引き続きここに市役所が置かれた歴史的背景などについても大切にしていきたい。 ● 民間事業者へのサウンディング調査で意見を聞く中では、福祉総合センター敷地は民間活用の可能性が高く、現庁舎敷地では民間活用ににくいという意見であった。 ● 今回の評価は現時点で分かっているまたは容易に推測できる事象により評価を行っている。 ● 選外地の具体的な活用案は今のところなく、有効な活用方策の検討は庁舎整備基本計画策定と並行して進める。また、跡地利用はまちづくりの観点から、選外地の発展という視点で評価を行っている。
<p>④ 経済性（実現性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1棟では容積率が足りない敷地に何故庁舎を建てるのか。 ● 現庁舎位置は、仮設庁舎や移転もあり遺跡でさらに工期が延びることも考えられる。 ● 仮設庁舎の建設、設備の移設、引越しも勘案すれば、経費も嵩み、福祉総合センター敷地の方が経済的と思う。 ● 工事中の駐車場はどのように確保するのか。仮設駐車場を建設するならその事業費も必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回お示ししている庁舎面積については、詳細に必要な面積を算定したわけではなく、職員数から算定される庁舎面積や先進事例から試算し、検討を始める想定面積として25,000㎡としている。この面積を確保する場合には土地の形状や大きさから分棟にせざるを得ないが、市民のみなさんが利用しやすいレイアウトを計画する。 ● 埋蔵文化財等の有無が工期に影響を与えることになっても、建設手法等に工夫を行いながら工期の短縮に努めたい。 ● 事業費についての検討では、別館を今後も利用することで、仮設関係の事業費を考慮しても現庁舎位置の方が事業費が少なくなる結果となった。 ● 工事中に必要な駐車場は民間駐車場の借用や棟の建設順序を調整するなど確保し、事業費の圧縮にも努めたい。
<p>⑤ その他の候補地</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市の人口中心は市民病院あたりと考えており、近くに建てられれば、病院に来た人がついでに立ち寄り、病院との連携も可能になる。 ● 人口で言えば、旧市よりもそれ以外の地域の人口の方が多く、他に適地は無かったのか。将来の市民の利用状況を考えれば、候補地以外の新しい場所も考えられるのではないか。 ● 卸売団地は建設地に考えなかったのか。 ● 都市計画公園を縮小変更することで新たな建設地の敷地を確保することも可能ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の人口重心は市民病院付近であるが、市民病院周辺には庁舎の建設に適した市有地がなく、福祉総合センター敷地と現庁舎敷地に候補地を絞ってきた。 ● 建設の実現可能性を考える中で市が現在所有し、25,000㎡程度の床面積を確保できる場所ということで、福祉総合センター敷地と現庁舎敷地を最終的な候補地として選定し評価を行った。 ● 建設候補地の選定は、平成25年報告書作成時に卸売団地のような民有地や都市公園についても庁内で検討したが、民有地は取得費用・期間がかかること、開設済みの都市公園もその果たしている役割や機能を別の場所で確保することが現実的に困難と判断して検討から外している。
<p>⑥ 建設地決定の経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建設地決定に至る検討を行ったメンバーの構成が知りたい。 ● 評価結果が同点になっているが、評価点数は誰が決めたのか。 ● 福祉総合センターが第1候補だったはずなのに、評価が五分五分になった経過が知りたい。 ● 昨年の評価から今回同点の評価となった理由を説明して欲しい ● 現庁舎で建替えたいとの判断に至った経過が知りたい。 ● 評価が同点なら駅に近い福祉総合センター敷地になると思ったが、現庁舎位置になった決定的な理由が知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門コンサルタント会社の調査結果を基に庁内検討組織で協議を行い、政策決定会議において、市政運営、まちづくりも含め総合的に判断し、現庁舎位置での建替えを決定した。 ● 平成25年報告書作成時は福祉総合センター敷地を第1候補地としていたが、各々の候補地を取り巻く条件が変化していることもあって再度評価し直すこととなり、今年度、建設候補地の評価を進める中で、詳細に調査し、防災性、利便性、まちづくり、環境への影響、経済性等の観点から再評価した。

《新庁舎の建設》	
市民の意見	意見に対する説明
<p>① 庁舎のコンパクト化（床面積の削減）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民センターにある程度業務を集約しているため、市民センターの機能を拡張して庁舎で行う業務をセンターに移し、想定規模を縮小して考えていくべき。 ● 今後はペーパーレス化や人口減少も進み、職員数も増えることは無いと思うので、あまり庁舎は大きくせず将来を考えながら新庁舎建設を進めてもらいたい。 ● 想定床面積に将来のIT化等による省スペース化も加味されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁舎整備においてITをいかに効果的に活用していけるのか、また、本庁と市民センターで行うサービスの分担をどうするのかなどと合わせて、庁舎の必要面積の検討を進めたい。 ● 庁舎規模は、試算のために、25,000㎡と想定しているが、庁舎整備基本計画策定において必要な機能や規模について詳細に検討する。
<p>② 庁舎のデザイン（景観への配慮）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現庁舎位置での建設なら、周囲の景観にマッチするような外観にするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観審議会にも諮りながら、景観に配慮した建物としたい。
<p>③ 庁舎建設の資金計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建設資金の確保はどう考えているのか ● 庁舎建設に使用できる補助金等はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁舎建設の財源は起債を考えており、通常であれば事業費全体の75%が借りられる範囲で頭金を25%分用意する必要がある。ただし、平成32年度までに設計に着手すると事業費全体の90%の範囲で借りられる起債（公共施設等適正管理推進事業債：市町村役場機能緊急保全事業）が適用できるのでこの制度を活用したいと考えている。

《その他》	
市民の意見	意見に対する説明
<ul style="list-style-type: none"> ● 最終的に議会で決定するという事なら、個々の議員の意見・考えを知りたい。 ● 建設候補地について意見を言えると思っていたが、新聞発表している以上、建設地は決まったようなもので残念だが、市民が誇れる庁舎を建設して欲しい。 ● 建設候補地の話を聞きにきたので、地域へ説明しに来るのなら検討段階で来るべきである。 ● 説明会の参加者がこれだけの人数で、市民に対し説明できているのか疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本件は3月の定例会で審議されるので、議員各位において熟考されている段階である。 ● 今後も基本計画づくり等の進捗に応じて市民説明会やワークショップを実施するなどして、市民のみなさんのご意見を伺いながら新庁舎の計画を進めていく。 ● 昨年9月に、市内の市民センター（桜台は台風で中止）と市立公民館において、検討状況の説明会を行い市民のご意見をお伺いするとともに、市ホームページ等のツールも用いながら情報発信や意見募集も行っているところである。 ● 説明会への参加者が少数なのは残念に感じている。広報誌やホームページ、本庁舎内でのデジタル広告の活用など、本市としてつかえるツールを効果的に使い広報に努めている。今後、検討が進んでいく中においても、市民のみなさんが関心を持てるように情報発信を行っていきたい。